

「スタンプを自作する(6)」

お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka

洗い出し直後の樹脂は、水分を含んでいる。特に、文字や絵の周辺に残った樹脂が、全体的にベトベトしていることが多い。



そこで、ドライヤーを使ってよく乾燥させる。この乾燥作業をしっかりやっておくと、完成後のスタンプが長持ちするので、面倒でも数分間、温風を当て続けたほうが良い。



乾燥が完全に終わったら、切断する前に、もう一度下から紫外線に当てる。印面はほぼ固まってはいるが、このようにもう一度紫外線に当てることによって、より完全に硬化する。一度スタートボタンを押すと、約3分間紫外線が照射されるので、それを2回繰り返すと良い。紫外線は目に良くない。この時蓋はしないので、ランプを直視しないように注意する。



紫外線を再照射したあとの印材。印面周囲の乳白色の部分(固まっていなかったところ)が透明に変化し、しっかり印面(凸部)の土台になっていることがわかる。これで、かなり丈夫なスタンプになった。



これを、印材の附属品の、厚手の両面粘着シートに貼り付ける。この時、印面が湾曲しないように慎重に貼ることが大切だ。



はさみで、1個1個のスタンプに切り分ける。ここまでできたら、完成まであと一息だ。